

金武町議会報

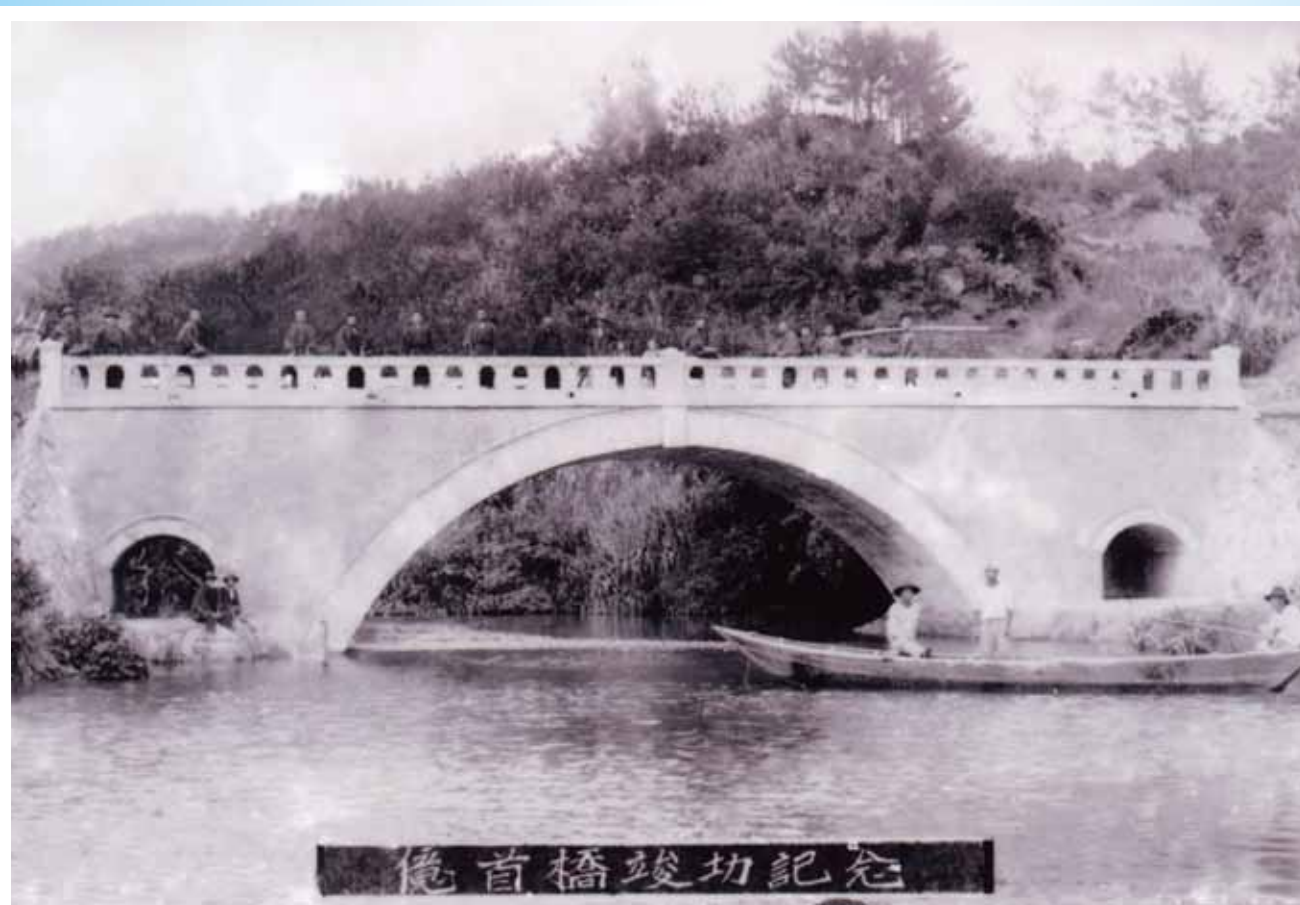


きんえん

第134号

発行：平成25年9月9日

均 霈



○懐かしい風景シリーズ

億首橋（昭和初期頃）

主な内容

一般質問	2～12P
大城 一之 / 安富 信武 / 伊芸 孝 / 池原 政文 / 外間 慎仁	
大城 政光 / 仲間 昌信 / 嘉数 義光 / 伊芸 政男 / 崎浜 秀幸	
仲間 政治	
平成25年第3回定例会議決結果	13～14P
平成25年第4回臨時会議決結果	15P
その他・傍聴案内	16P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成25年第3回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



大城 一之 議員

ガードレール設置について

ガードレール設置計画は

町長 直線区間の見通しがよい箇所への設置は困難

大城議員 国道329号線の電線地中化の進捗状況と今後の計画は。

儀武剛町長

金武レッドビー

チ入口から役場前まで完了。今後の整備計画は、役場前から県道104号線入口までの整備ができるよう関係

機関に働きかける。

大城議員 歩道上にあるボックスの管理について伺う。

町長 沖縄電力の所有物であり、沖縄電力が管理を行う。

大城議員 落書きがされており、色も暗い。子どもたちが描いた絵を貼るなど、見栄えがよいようにしてもらいたい。

宮里安秀企画課長 ボックスの色については、沖縄電力の方針の中で決められている。町の子どもたちの絵を貼りつけ等ができるか、

沖縄電力との協議が必要と思うので、確認したい。

大城議員 歩道の現状とガードレール設置計画について伺う。

町長 北部国道事務所によると、カーブ等の危険箇所には設置する事ができるが、見通しがよい箇所への設置は困難と報告を受けている。国道329号線の金武給油所から役場前までの間は、景観や商店街利用者への利便性を考慮し設置しないことになっている。

大城議員 嘉芸小学校校区の国道ガードレール設置について伺う。

町長 嘉芸小学校校区のガードレール設置については、設置は困難と報告を受けている。

学力向上について

電子黒板導入による効果は

教育長 全国学力調査等の成績が向上している

大城議員 電子黒板導入による学力向上への効果とその評価について伺う。

仲間一教育長 デジタル教科書の活用などにより生徒

の学習意欲が向上しているほか、教職員の情報通信技術の活用能力が向上し、授業の効率化がはかられている。結果、全国学力調査等の成績が徐々に向上している。

大城議員 ICT学習の現状と課題について伺う。

教育長 コンピューターの基本操作指導やインターネットを利用した情報活用能力の向上をはかる授業を行うほか、情報モラルの指導などをを行っている。今後も、情報教育の充実に努め、学校におけるICT環境の整備を推進する。

防災計画について

防災行政無線の設置計画は

町長 今年度、役場へ本部放送設備を整備する

大城議員 これまでの防災対策、及び防災計画の進捗状況について伺う。

町長 今年度、金武町防

災会議において津波発生時には海拔10メートル以上へ避難すること、避難場所を海拔15メートル以上の地点に設定するなどの方針を決定しており、その方針に沿って金武町地域防災計画を策定、海拔と避難経路を示した標識の設置や避難施設への災害用特設電話回線の設置を計画している。

大城議員 防災行政無線の設置計画の進捗状況は。

町長 一括交付金を活用し、今年度当初予算に基本調査・設計の予算、今定例会に工事費の一部を計上している。今年度は、役場へ本部放送設備を整備するほか、屋嘉区、伊芸区の一部地域へ屋外スピーカーを設置する。平成26年度以降は、屋外スピーカーの設置と携帯メールやパソコン等へ防災情報等を一斉送信する防災情報伝達制御サーバーを整備する計画となっている。



安富 信武 議員

當山紀念館・雄飛の森の有効活用を経緯について

當山紀念館の主な

活用経緯は

教育長

戦後は幼稚園や教育委員会事務所、町史編さん室として使用

安富議員

庁舎増築に伴う

「當山紀念館」の扱いについて、答申内容について教育長の考えを伺いたい。

仲間一教育長

金武町文化

財保護審議会の答申を受け、町教育委員会において審議した結果、教育委員会としての意見は「同審議会の答申を尊重する」としている。

安富議員

當山紀念館の設

立経緯について、当該会館の設立時の趣旨及び融資に

ついて伺う。

教育長

當山紀念館の建設

について、昭和10年の新聞記事によると「約三千円を投じて建設し、移民講習や村会を行う」旨が掲載されている。また、昭和6年に行われた寄付金募集趣意書の新聞広告記事によると、募金の趣旨は「當山久三翁の業績を記念する」旨となっており、県内外・海外同胞からの募集となっている。

安富議員

當山紀念館の主

な活用経緯について伺う。

教育長

建設当初において、

移民教育や村会の会議場所として使用する旨が新聞記事に掲載されており、戦後は幼稚園や教育委員会事務所、町史編さん室として使用していた。当該施設の老朽化や教育委員会事務所の移動に伴い、使用されていない状況となっている。

當山久三翁の

実績について

文化的側面は

迷信の打破や祭祀の簡素化などの改革を行った

町長

安富議員 経済的側面から

見解を求める。

儀武剛町長

沖縄県土地整

理事業で杣山が一時国有化された時、杣山払い下げ運動を指導監督し、町有地化した。農業基盤整備事業を実施し、農業の生産性を高めた。また、移民事業で送り出した海外移民からの送金が地域経済に貢献した。

安富議員

文化的側面から

見解を求める。

町長

並里総代時代に、

小学校敷地の開墾、男の断髪、迷信の打破や祭祀の簡素化などの改革を行った。また、沖縄の自由民権運動に参画し、県民の参政権獲得等に尽力した。

雄飛の森を活用した

町づくりについて

採火台をつくり

式典を開催しては

採火式典について
考えていない

町長

安富議員 當山紀念館を復

活すれば、當山久三翁の偉業・理念を学ぶ場に適する建物となり、文化的価値の高いものである。当局の見解を求める。

町長

當山紀念館は、昭

和初期に建てられ、経年劣化による改修工事が行われており、建築当初の状態を保っていない。雨漏りやコンクリートの剥離などがあ

り、平成12年度以降は使用されていない。町としては、復元するのではなく、アーチ構造や八角窓など特徴ある一部をモニュメントとして保存したいと考えている。

安富議員

金武中学校前に

ある石碑は管理されず威厳

を放っていない。雄飛の森付近に移動させ当地との一体感を持たせる方が良い。当局の見解は。

町長

平成12年に沖縄県

人移住100周年記念石碑設置場所検討会が開催され、設置されている。町としては、設置場所検討会の意見を尊重し現在の場所が適切と思える。

安富議員

雄飛の森に採火

台をつくり式典を開催、県庁首脳や役員を招待し式典を盛り上げ、金武町をアピールする。当局の見解を求める。

町長

現在、町において

當山久三を称える式典として當山久三翁顕彰式を行っており、今後も継続的に実施することで金武町が移民発祥の地であることをアピールしたい。採火式典については考えていない。



伊 芸 孝 議員

国政と町行政の 関わりについて

TPP交渉参加問題 について

町 長
政府によるTPP交渉を注視していくべき

伊芸議員 憲法96条の3分の2要件改正について所見を伺う。

儀武剛町長 憲法96条改正については、重要な事でありますので、十分な議論が必要であると考え、慎重に検討するべきであると思われる。

伊芸議員 アベノミクス経済政策の効果について所見を伺う。

町 長 円安や株価に変化がみられている状況であり、好転しているように見えるが、燃油価格の高騰による漁業への影響、飼料等の価格高騰による畜産農家への影響があり、全体的な情勢として安定していない状況にあると考える。

伊芸議員 TPP交渉参加問題について伺う。

町 長 今後の交渉の結果次第では農林水産業への深刻な影響が予想され、政府によるTPP交渉を注視していくべきと考える。

町税収納管理について

新しい町税収納 管理計画は

町 長 金武町債権管理条例の制定に向けて取り組んでいる

伊芸議員 全国でユニークな町税収納管理を行っている自治体を調査したことがあ

るか。また、その必要性について所見を伺う。

町 長 町では、先進地調査を行っており、今後も先進地調査やインターネット等を活用し、全国でユニークな地方自治体の収納管理事例を参考に、町独自収納管理を取り組んでいく。

伊芸議員 今までにない新しい町税収納管理計画について所見を伺う。

町 長 新しい試みとして、税以外の未収債権削減と、現年度分の徴収率の向上のため「金武町債権管理条例」の制定に向けて取り組んでいるところだ。

伊芸議員 滞納者に対する行政サービスの制限についての所見を伺う。

町 長 町では、納税者と滞納者の公平性の観点から、行政サービスの制限は必要と考える。平成18年度に、金武町子育て激励金支給条例、金武町虫歯予防奨励金

条例の2つの条例で滞納者に対する行政サービスの制限を行っている。

スポーツの振興について

コーチ、審判員の育成は

教育長
関係機関・団体等と連携・調整し、育成に努める

伊芸議員 人的育成について所見を伺う。

仲間一教育長 町体育協会等との連携を行い、各種大会、野球教室、陸上教室、水泳教室等の実施、社会体育指導員の配置、県内外大会への派遣支援等を実施している。今後も引き続き、各種大会の実施や支援をはじめ、ベースボールスタジアムや陸上競技場等を利用するプロや学生チームとの連携により、各種教室等の充実を図り、人材育成を行っていく。

伊芸議員 競技者を支える

コーチ、審判員の育成が必要と思うが、所見を伺う。

教育長 スポーツ振興に係る指導者の育成については、町体育協会と連携し、各種スポーツ教室やスポーツ栄養学の講演等を実施している。審判の育成については、近年、町独自の審判講習会等の開催がなく、町内スポーツ団体やチームごとの対応となっている。今後、指導者育成については、関係機関と連携して指導理論や技術講習会等の充実を図る。審判員育成については、町体育協会の専門部や町内スポーツ団体等と調整しながら育成に努める。

町 長 野球場や陸上競技場、サッカー場とさまざまなスポーツ施設の充実が図られ、今後、ソフト面での充実も重要と思っている。教育委員会を支援し、ソフト部門が活発になるよう体制をとっていきたい。



池原政文 議員

米軍施設・区域の返還、 統合計画について

町民生活に及ぼす影響は

町長
現段階においてどのような影響を及ぼすかわからない状況

池原議員
2005年に日

米両政府で合意した米軍再編統合計画に基づき、本年4月5日の日米合意により嘉手納基地より南の米軍基地の返還・統合計画の時期が明示された。返還計画では、牧港補給基地とキャンプ瑞慶覧の一部機能をキャンプハンセンへ移転も含めた前提条件となっていますが、本町に移転される事について町民生活に及ぼす影響はどのようなことが想定

されるか見解を伺う。

儀武剛町長
平成25年4月

5日の日米共同発表によると、沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画については、牧港補給基地とキャンプ瑞慶覧からキャンプハンセンへ海兵隊コミュニティサービスの庁舎、リサイクルセンター、海兵隊の倉庫、工場等が移設される予定となっている。今回移設される施設は、演習施設ではないので、騒音等の被害はないと思われるが、移設される施設の規模や場所、人員等の詳細な情報がないため、現段階において町民生活にどのような影響を及ぼすかわからない状況です。

です。

池原議員
12日の新聞によ

ると、キャンプハンセンの移設手続きを容認する考えを示したという事だが。

町長
その新聞を見ると、すぐ容認したというイメー

ジでしたが、そういう事ではなく、いろいろな条件を付しています。町に対する影響等も含めて聞いた後に判断しますという事は明確に伝えている。

池原議員
バイパスが開通

し、信号機ができていないが、渋滞が緩和されていないように感じる。倉庫とか施設、そういう機能が来ると混雑が予想されるが。

町長
米軍側のほうで、

伊芸区のインターチェンジから基地の中に入れるような道路をつくれなにかという案や、意見交換もやっているが、実現に至っていない。さらなる交通渋滞を招くという事ですと町民に不便をかけるわけですので、交通緩和に関する件を再度洗い直しをして、防衛局を通し、いろいろな方策がでないかというところを積極的に取り組んでいきたい。

雇用対策について

地元優先採用の

働きかけは

町長
沖縄防衛局に対し要請している

池原議員
駐留軍等労働者

(基地従業員)の募集について、町民からの応募者が多いにもかかわらず、採用が厳しい。行政側でも積極的に関係機関等を通して、

地元からの優先採用を働きかける必要があると思慮するが、どのような考えか。

町長
本町における駐留

軍等労働関係の取り組みとしては、これまで申し込み者の利便性を図るため、町に窓口を設置するなどの支援を行うと共に、沖縄防衛局に対して地元からの優先採用の要請を行ってきた。現在も沖縄防衛局に対し、地元からの優先採用を労務管理機構等へ積極的に働き

かけるよう要請しているところです。

池原議員
キャンプハンセンに何人働いていて、金武

町出身は何人いるか。

宮里安秀企画課長
キャン

プハンセンで働いている金武町出身者は、113人。

池原議員
町祭りとか、い

ろいろな行事、司令官など案内する中で、こういう事も強く言い、町民のためにやるのも手だと思うが。

町長
面接や個々の能力

の問題ですと言われたりするのですが、こういった形でいいのか困惑している。もう少し、こういった形であればいいのか、積極的に動いて、町内の優先採用ができるような体制をとっていききたいと思っている。



外間 慎 仁 議員

金武町における観光交流人口の推移と受け入れ体制、整備状況について

観光案内看板の

取り組みは

町 長

多言語観光案内看板の設置箇所等の検討を行う

外間議員 金武町の観光交流人口の推移は。

儀武剛町長 平成20年度で7万人、平成23年度実績で9万1000人となっており、30%増で推移している。

外間議員 今後の取り組みについて伺う。

町長 今後も引き続き、関係機関と連携した誘客効

果の高いイベントや、億首川周辺からギンバル跡地のエリア周辺を活用した誘客に取り組んでいきたい。

外間議員 ギンバル訓練場跡地事業における駐車場の設置規模と今後の管理運営について伺う。

町長 ギンバル入口付近に60台分整備され、社会教育課が管理している。地域医療施設に193台、ヘルスケアセンターに78台、フィッティングセンターに54台、海洋療法児童リハビリセンターに25台、モニュメント敷地に5台、サッカー場に143台の駐車場整備が計画されており、それぞれの施設運営予定者が管理していく事になっている。

外間議員 新開地における駐車場の設置状況と管理運営について伺う。

町長 金武町公共駐車場とアクティブパーク駐車場の2カ所設置されている。

金武町公共駐車場は、80台収容で、金武町商工会が管理し、アクティブパーク駐車場については、26台収容で金武町社交飲食業組合へ管理委託を行っている。

外間議員 金武町内における観光案内看板の設置状況について伺う。

町長 観光案内については、アクティブパーク1基、金武大川周辺1基、金武町役場前バス停周辺1基、伊芸海浜公園1基、伊芸サービスエリア下り線1基の計5カ所に設置されている。

外間議員 今後の取り組みについて伺う。

町長 ギンバル跡地利用を含めた億首川周辺エリアの整備状況に合わせながら、多言語観光案内看板の設置箇所等の検討を行い、実施できるよう取り組む。

外間議員 観光案内人や地域コーディネーターの人材育成についての現状と取り

組みについて伺う。

町長 今後、ギンバル跡地利用を含めた億首川周辺の整備状況に合わせながら、人材育成の手法の検討を行い、実施できるよう計画する。

ソーシャルビジネス(コミュニティビジネス)による町づくり

現状は

町 長

一部民間が介護タクシーや配食サービス等を行っている

外間議員

本町におけるソーシャルビジネス(コミュニティビジネス)を活用した町づくりの現状は。

町長 本町では、一部民間組織による介護タクシーや配食サービス等を行っており、経済産業省が推進するソーシャルビジネスを活用した全体的な取り組みは行っていない。

外間議員 今後の取り組みについて伺う。

町長 先進地の事例を参考とし、町としてどのような取り組みができるか検討する。

外部専門家制度を活用した町づくりについて

現状は

町 長

活用していない

外間議員 外部専門家制度を活用した町づくりの現状は。

町長 本町では、総務省が推進する外部専門家制度を活用しておりません。

外間議員 今後の取り組みについて伺う。

町長 今後、外部専門家制度を活用した市町村等の先進事例を研究し、町としてどのような取り組みができるのか検討する。



大城 政 光 議員

土地改良地について

排水路整備は

町 長

次年度以降整備
する計画

大城議員

かんがい事業、
農業用貯水池も完成し、農

家の皆さんは安心して農業
ができると思った。しかし、
伊地田原（イヂタバル）の
排水路に見られるように、
U型の枠にプレート差し
込むだけの施設なので、老
朽化が進み壊れている所が
多い。田んぼに入れた水が
一夜にして無くなる。カニ
が排水路までトンネルをつ
くったためである。今後、
どのような対策を考えてい

るか伺う。

儀武剛町長

伊地田原の
排水路については、設置か
ら30年近く経過し、老朽化
による損傷が多いため、今
定例会補正予算において実
施設計費を計上し、次年度
以降整備する計画となっ
ている。

大城議員

次年度以降整備
していくということだが、
どういう形で排水路を整備
するか、詳しく説明してい
ただきたい。

池原均産業振興課長

伊地
田原については、今ある枠
組みプレート排水路を撤
去し、そこに2次製品のU
型側溝を置いて仕上げる。
今定例会に補正予算とし
て、屋嘉地域、前田原（メー
ダバル）、喜那又原（シナ
マタバル）も含め設計をし、
来年度以降、2次製品の工
法で整備していきたい。

大城議員

いつまでに設計
を入れ、いつごろ着工して

いく予定か。

産業振興課長

今定例会
で補正が可決されたら、す
ぐ設計に取りかかり、来年
早々には伊地田原も含めて
排水路整備事業実施してい
きたい。

大城議員

小浜原のかんが
い施設が手つかずの状態だ
が、どうなっているか。

産業振興課長

トンネルを
こえ、嘉喜又原（ガチマタ
バル）に行くところの沢に
頭首工をつくり、それで上
の貯水池のほうに水を上げ
る予定していたが、工事を
する場合、その上の土地
を活用したいということだ
地権者をお願いしたところ、
了解が得られない状況が続
き、中断した。県はやむな
くその土地を使わず、沢の
ところに道路をつくり、工
事を再開している。

大城議員

小浜原（クバマ
バル）は計画としてどうなっ
ているか。

産業振興課長

県営のかん
がい排水路事業の小浜地区
というのは、小浜原と嘉喜
又原の一部が入っている。
今、頭首工のほうの工事を
先にやっており、それが終
わってから管路工事が入り、
平成27年から平成28年に完
成するという予定です。

大城議員

渡久比那（トゥッ
ピナ）のあたり、水田が水
を使うとどれだけ水があっ
ても足りない。1回に、1
平方メートルあたりどれだ
け水を使うという統計が出
ているか。

産業振興課長

土地改良か
んがい排水事業をするとき
に畑地面積、あるいは水田
面積があり、ある程度の指
標があります。その指標の
基ついでやった場合、どこ
の地域でも水が足りなくな
るという結果がある。その
設計上で苦肉の策としてロー
テーションでまわすという
仕組みがつけられている。

設計上は、ローテーション
で順番をすれば水が足りる
という計算になっているが、
現場ではできていない。農
家の皆さんと区長を交え、
あるいは土地改良区と話を
し、そういった仕組みがで
きるよう検討してもらいた
い。

※実施設計

基本設計に基づいて、
工事の実施および工
費の内訳明細書の作
成ができる段階まで、
設計図書を明細化す
る設計作業。

※頭首工（とうしゅこう）

河川などから農業
用水を用水路へ引き
入れるための施設の
総称。



仲間昌信 議員

嘱託保育士の待遇改善

措置について

待遇改善の措置を

講じたか

町 長

待遇を見直すにあたり、調査に時間を要している

仲間議員

子どもたちの保育環境を守るためには、ま

ず保育士の待遇改善が重要です。この件は3月定例会に議論されたが、その後どのような取り組み、措置を講じたか伺う。

儀武剛町長

町では3月定

例会以降、早期に待遇改善が図られるよう、財政検討委員会において、報酬を日額支給から月額支給へ移行すること等について検討し

た。しかし、嘱託保育士の待遇を見直すにあたり、他の嘱託員との整合性が課題となり、役場等で勤務する約90人の嘱託員について調査しており、時間を要している。また、地方公務員の給与については、国に準じて減額するよう通知があり、その措置を前提として地方交付税が減額される事から、町の人件費全体の対応についても検討している。今後は、これらの課題を解決し、嘱託員の待遇を見直したいと考えている。

仲間議員 金武町町民税減税条例の施行に伴い、嘱託保育士などの待遇や、その他の事業にどのような影響が生じたか伺う。

町 長

金武町町民税減税

条例は、町民の経済的負担を軽減する事を目的に10%減税したところであり、これによる嘱託保育士などの待遇や、その他事業への影

響はありません。

仲間議員 給与体系ですが、一般職と同じような考え方で嘱託職員の日当が計算されているのか。

比嘉貴一総務課長 職員の給与表に照らし合わせ、短大卒の町の嘱託員と同等の報酬額となっている。

比嘉貴一総務課長

職員

の給与表に照らし合わせ、短大卒の町の嘱託員と同等の報酬額となっている。

ギンバル訓練場跡地

開発について

基本計画審査申請について
議会に提出の考えは

町 長

開発許可を受けた後、対応を検討したい

仲間議員

ホテル建設が予定されていますが、土地を無料で賃借契約をしたがその法的根拠を伺う。

町 長

ホテル等企業誘致

における土地賃貸借契約については、借地借家法に基づくものです。

仲間議員

沖縄金武リゾート株式会社から提出された

基本計画審査申請について説明し、議会に提出の考えはないか。

町 長 今回、開発業者から基本計画審査申請書が町へ提出され、町は関係課の意見を付して県へ副申しました。それを受けて県は、開発業者との間で関係法令等の調整を行っており、その後、開発業者が県へ開発許可申請を提出することになっている。今後、開発許可を受けた後、内容を精査し、対応を検討したい。

町 長

今回、開発業者から基本計画審査申請書が町へ提出され、町は関係課の意見を付して県へ副申しました。それを受けて県は、開発業者との間で関係法令等の調整を行っており、その後、開発業者が県へ開発許可申請を提出することになっている。今後、開発許可を受けた後、内容を精査し、対応を検討したい。

仲間議員 沖縄金武リゾート株式会社の社長名と社員数を伺う。

町 長 社長は、タン・テ

ンヤン氏となっております、社員数については4人となっています。

町 長

今回、開発業者から基本計画審査申請書が町へ提出され、町は関係課の意見を付して県へ副申しました。それを受けて県は、開発業者との間で関係法令等の調整を行っており、その後、開発業者が県へ開発許可申請を提出することになっている。今後、開発許可を受けた後、内容を精査し、対応を検討したい。

仲間議員

沖縄金武リゾート株式会社の社長名と社員数を伺う。

町 長 社長は、タン・テ

町 長

今回、開発業者から基本計画審査申請書が町へ提出され、町は関係課の意見を付して県へ副申しました。それを受けて県は、開発業者との間で関係法令等の調整を行っており、その後、開発業者が県へ開発許可申請を提出することになっている。今後、開発許可を受けた後、内容を精査し、対応を検討したい。

株式会社とベルジャヤ沖縄デベロップメントの関係については、両社の親会社がマレーシアにおいて関連会社となっている。

仲間議員

1工区から5工

区までの工事予定区域の目的と工事着手の年月日を明らかにしていただきたい。

町 長

1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。

町 長 1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。

町 長 1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。

町 長 1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。

町 長 1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。

町 長 1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。

町 長 1工区については、ホテルや分譲マンション等を建設する予定であり、平成26年度の着手を予定している。2工区については、商業施設や分譲マンション等の建設を予定されており、平成29年度内の着手予定です。3工区、4工区については、ビラタイプの分譲住宅施設を建設予定しており、3工区は平成32年度内、4工区については、平成35年度内の着手を予定している。5工区については、ホテル等の建設を予定し、平成38年度内の着手を予定されている。



嘉数義光 議員

金武町の子ども・子育て支援制度について

幼保一元化を進める考えは

教育長

国の動向を見ながら
取り組む

嘉数議員 町の幼稚園保育料の現状を伺う。

仲間一教育長 町立幼稚園は、保育料および入園料について、平成22年4月から町内に住所を有する園児は無料としている。

嘉数議員 国は平成26年度全5歳児の無償化を目指しているが、町は国の政策に対しどのような方針を打ち出すか伺う。

教育長 町立幼稚園の入園は5歳児を対象としており、

金武町は、全国に先駆けて全5歳児の保育料および入園料を無料としています。

嘉数議員 第2次安部内閣政権発足により、行政事務合理化の観点に加え、保育の普遍化および質向上の観点から、文部科学省での一元化という選択肢が積極的に検討されている。わが町でも幼稚園・保育所の一元化について議論してきたが、国の政策に先駆けて、幼保の一元化を進める考えはなにか伺う。

教育長 幼保一元化については、幼稚園と保育所では国の所管省庁・根拠法が異なることから、今後とも国の動向を見ながら、幼保一元化の実施に向けて取り組みとともに、仮称「こども支援課」の設置を検討し、よりよい子育て支援に努める。

嘉数議員 一元化を実施している自治体はあるか伺う。

教育長 幼保一元化を実施している自治体は把握していないが、県内において那覇市「天久みらい幼保園」が一体化施設として実施されています。

嘉数議員 高校生まで医療費無償化を進める考えはなにか。

儀武剛町長 本町の乳幼児医療費については、入院・通院ともに沖縄県の補助基準に先駆けて対象年齢の拡大を図ってきた。今後も、保護者の経済的負担軽減が図られるよう、高校生までの医療費無償化についても実施に向け取り組む。

嘉数議員 学校給食費無料化の考えはなにか伺う。

教育長 平成22年4月から3人目以降の幼児・児童・生徒を有する保護者に対して、給食費の補助を実施しています。今後、給食費の無料化に向けては、恒久的、安定的な財源確保が必要

なことから、財政状況を勘案しながら段階的に取り組んでいきます。

町の徴収業務について

進捗状況は

町長 金武町債権管理条例の制定に向け取り組んでいる

嘉数議員 金武町徴収対策委員会の進捗状況について伺う。

町長

町では、町税やその他税外収入等、各課にある滞納額について情報交換を行い、効率的な徴収方法はないか検討するなかで、平成20年に「金武町徴収対策委員会」を立ち上げ、町税については、地方税法に沿って徴収を強化し、滞納額の圧縮、現年度分の徴収率の向上を図るということ

で意見がまとまった。その後、当委員会では、その他

税外収入等の徴収について、先進地調査や8回の協議を経て、地方税法と同様の手続きがとれる「町債権管理条例」を設置し、徴収率の向上を図るということで見がまとまり、現在、税外未収債権削減と現年分の徴収率の向上のため、「金武町債権管理条例」の制定に向け、取り組んでいる。

嘉数議員 債権管理条例をつくっている最中と聞くが、5年たって検討中ということなので、あまり必要でないかと解釈していいか。

上原浩税務課長 債権管理条例は大変必要と感じており、めどが立っていないが、遅くとも2年以内には条例をつくり、運営していく。



伊 芸 政 男 議員

屋嘉小浜バス停上屋の
整備について

上屋の整備を急ぐべきでは

町 長

占有許可が下り次第、
バス停上屋を設置し
ていく

伊芸議員

うるま市から金
武向けのバス停で、以前ま
で上屋が設置されていたが、
取り壊され、復元されてい
ない状況である。地域の利
用者にとっては大変不便を
感じているところです。上
屋の整備を急ぐべきと考え
るが、所見を伺う。

儀武剛町長

町としては、
バス利用者の利便性を確保
するため、平成24年度に一
括交付金事業で小浜バス停

を含むバス停上屋9基の設
置費を計上しました。9基
のバス停上屋は、国道32
9号線の歩道上に設置する
ことにしており、地下埋設
物の確認や設置後の有効幅
員の確保等について、北部
国道事務所との調整を行っ
た。しかし、有効幅員等の
調整に時間を要したため、
平成25年度に繰り越しとなっ
た。現在、北部国道事務所
等との事前協議は概ね終了
していますので、占有許可
が下り次第、バス停上屋を
設置していく。

第4次金武町国土利用
計画について

企業誘致のための
土地確保の考えは

利用可能な場所を
調査していきたい

町 長

伊芸議員 産業動態から見
た課題の中で、新たな雇用
機会を創出することで完全

伊芸議員

失業者や共働き世帯、高齢
者の増加に配慮した雇用拡
大を図るため、企業誘致の
ための土地確保を行う必要
があると示しているが、企
業誘致のための土地確保の
考えは。

町 長

第4次金武町国土
利用計画は、平成32年を目
標年次とし、町土の総合的
な土地利用を図るために策
定しているものです。同計
画では、ギンバル訓練場跡
地を観光・リゾート関連用
地として位置づけ、現在、
同訓練場跡地を活用し、関
連企業の誘致を推進してい
るところです。企業誘致の
ための土地については、今
後、町内の利用可能な場所
を調査していきたいと考え
ている。

伊芸議員

現在、進められ
ているふるさとづくり整備
事業と同時に、国道バイパ
ス沿線、ゴールドステイ（跡
地）、光が丘西側付近に利
用する土地を確保して、産
業高度化地域および情報通
信産業振興地域へ指定して
いただき、税制優遇措置や
雇用支援助成金を活用し、
企業誘致することができ
る。

伊芸達博副町長

バイパス
については、個人の開発が
進んでおり、ゴールドステ
イについても、分譲マンショ
ンをつくりたいという話も
来ています。産業高度化指
定区域など、そういうのは
金武町全域が指定されてい
ます。企業誘致して、開発
させる部分については、今
後、可能な場所を確認しな
がらしっかり進めていきたく
と考えています。

※産業高度化地域

「産業高度化・事
業革新促進計画」に
て指定された地域に
立地した企業は、沖
縄県知事による計画
認定を受けた場合、
固定資産税一部課税
免除等の税制上の優
遇措置を受けること
ができる。

※情報通信産業振興地
域

情報通信関連産業
の振興のため、情報
通信産業振興地域内
で設備投資等を行う
情報通信関連企業に
対し、投資税額控除
制度や地方税の課税
免除又は不均一課税
を行います。



崎 浜 秀 幸 議員

地域医療施設について

県との開設に向けての話し合いは怎么样了

いるか

町 長

運営予定者のほくと会で調整をしている

崎浜議員

地域医療施設の事業計画について説明し、議会に提出されたい。

儀武剛町長

地域医療施設では、検診業務とガンの放射線治療を実施し、内科、婦人科、放射線科、眼科の標榜を予定している。その事業計画書は、平成20年7月に作成して議員へ配布しています。

崎浜議員

地域医療施設に

導入する機種の選定委員会の名簿および規則、また、何回開催されたかあきらかにされたい。

町 長

地域医療施設の医療機器について、適正かつ効果的な機種選定を行うことを目的に「地域医療施設医療用機器導入機種選定委員会設置要綱」を平成23年6月に制定しています。機種選定委員会の委員は、金武町副町長、医師会代表医師1人、ほくと会代表医師2人の計4人で、これまでに4回開催されている。

崎浜議員

地域医療施設（有床診療所）の開設申請は町か、それともほくと会北部病院が行うのか。もし、ほくと会が行うのであれば、その法的根拠をあきらかにされたい。

町 長

医療法第7条第1項の規定により、運営予定者の医療法人ほくと会が開発許可申請を行う予定です。

崎浜議員

ほくと会北部病院の申請手続きを説明されたい。また、建設は進んでいるが、県との開設に向けての話し合いは怎么样了

町 長

運営予定者の医療法人ほくと会は、地域医療施設の開設に向けて診療所開設許可申請等の手続きの準備をしており、これまで町と運営予定者の医療法人ほくと会で、沖縄県医師課や中部福祉保健所と開設に向けた調整をしている。

崎浜議員

19床のベッドについて、病院側と話し合いはなされているか。

町 長

地域医療施設の19床については、運営予定者の医療法人ほくと会と協議をかさねた結果、既存の北部病院より病床を移すことの承諾を得ている。

崎浜議員

19床のベッドを移設をするという同意、あるいは双方が合意を持った

日にちはいつか。

森山朝男基地跡地推進課長

覚書について2度ほど交わしているが、最新で平成24年8月に事業立地に関する覚書というのを交わしており、その中で事業運営をしていくという形になっている。その中で特にうたっていないが、それは合意という形で進められています。

崎浜議員

開設予定日は何年何月を予定しているか。

町 長

地域医療施設の開設は、平成26年4月を予定している。

崎浜議員

当初は、管理委託制度を導入するという説明があり、現在は貸し付けの方向で行っているということだが、そういった計画の変更がある場合に、議会へ示すべきではないか。

基地跡地推進課長

当初、指定管理も予定していたが、指定管理よりも行政財産使用許可のほうが運営方法として

しては良いという県の指導も受け、昨年来より議会のほうで何度か答弁しているところです。

移民資料館建設について

建設する予定は

教育長
関係機関と建設に向けて調整をおこなう

崎浜議員

金武町は、移民発祥の地として町内外に広く知られているが、いまだ町には移民に関する資料等を保管する施設がない。今後、建設する予定はあるか。

仲間一教育長

町の移民資料をはじめ、民俗・歴史・考古・自然史等に関する資料館については、用地選定、財源確保等の課題について関係機関と建設に向けて調整をおこなう。



仲間 政治 議員

ギンバル訓練場の 跡利用について

開設申請はどこが行うか

町 長

運営予定者の医療法人ほくと会で開発許可申請を行う予定

仲間議員

地域医療施設について、地域医療施設の事業計画をあきらかにし、計画書を議会に提出する考えはあるか。

儀武剛町長

地域医療施設では、検診業務とガンの放射線治療を実施し、内科、婦人科、放射線科、眼科の標榜を予定している。その事業計画書は、平成20年7月に作成して議員へ配布しています。

仲間議員

町が導入する機種

種の選定委員会の名簿および委員会規則、開催日時をあきらかにされたい。

町 長

地域医療施設の医療機器について、適正かつ効果的な機種選定を行うことを目的に「地域医療施設医療用機器導入機種選定委員会設置要綱」を平成23年6月に制定しています。機種選定委員会の委員は、金武町副町長、医師会代表医師1人、ほくと会代表医師2人の計4人で、これまでに4回開催されている。

仲間議員

有床診療所の開設申請は、町かほくと会か根拠をあきらかにされたい。

町 長

医療法第7条第1項の規定により、運営予定者の医療法人ほくと会で開発許可申請を行う予定です。

並里区有地の 賃貸借について

面積は

町 長
合計17万3616.
37平方メートル

仲間議員

並里区有地の賃貸借について、地番、面積、地目は。

町 長

並里区との土地賃貸借契約については、10850番地ほか18筆で、面積は合計17万3616.37平方メートルであり、地目は原野が15筆、山林3筆、雑種地が1筆となっている。

仲間議員

海没地が含まれているが、その面積、地番は。

町 長

海没地については、契約面積に含まれていない。

仲間議員

保安林はどうなっているか。

町 長

保安林については、10819番地ほか6筆あり、面積は合計9.11ヘクタール。

ルとなっている。

仲間議員

なぜ、並里区の土地を賃貸することになったのか。

森山朝男基地跡地推進課長

用地交渉をしている段階で、近隣にダムなどの事例があり、地主会を説得することができなかった。最終的に、お互いの妥協点を見出し、当初の予定より購入単価が高くなったこともあり、一部賃貸、一部購入という方向で進めた。

原状回復について

原状回復は終了したか

町 長

現在はメースB基地の撤去工事が進行中

仲間議員

ギンバル訓練場返還に伴い、原状回復はすべて終了したか。

町 長

原状回復については、泥土除去施設、消火訓練施設の物件撤去が済んで

おり、現在はメースB基地の撤去工事が進行中です。また、海没地について、接収時の原状回復するように求めているところであり、国のほうでその方針を検討しているところです。

※医療法第7条第1項

病院を開設しようとするとき、医師法第十六条の四第一項の規定による登録を受けた者及び歯科医師法第十六条の四第一項の規定による登録を受けた者でない者が診療所を開設しようとするとき、又は助産師でない者が助産所を開設しようとするときは、開設地の都道府県知事の許可を受けなければならない。

平成25年 第3回 6月定例会

平成25年第3回定例会を、6月19日から6月24日までの日程で開催した。

今定例会は、各会計の補正予算や工事請負契約、教育委員の任命などの議案が上程され、審議した。

また、11人の議員が雇用対策やギンバル訓練場跡地利用などについて一般質問を行った。

議決結果は下記のとおりとなっております。(一般質問要約 P2 ～ P12)

平成25年第3回金武町議会定例会附議案件処理結果

件 名	議決結果	件 名	議決結果
平成25年度金武町一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成多数)	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任 (賛成多数)
平成25年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成多数)	教育委員の任命について	同 意 (賛成多数)
平成25年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成多数)	教育委員の任命について	同 意 (賛成多数)
金武町公共宿泊施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決 (賛成多数)	専決処分の承認について(金武町税条例の一部を改正する条例)	承 認 (賛成多数)
平成25年金武町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成多数)	専決処分の承認について(金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認 (全会一致)
金武町廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (賛成多数)	米空軍嘉手納基地所属F15戦闘機の墜落事故に対する意見書	可 決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(ふるさとづくり整備事業 地域医療施設建築工事)	原案可決 (賛成多数)	米空軍嘉手納基地所属F15戦闘機の墜落事故に対する抗議決議	可 決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(ふるさとづくり整備事業 ヘルスケアセンター建築工事)	原案可決 (賛成多数)	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	可 決 (全会一致)
工事請負契約締結について(並里・金武地区農業集落排水事業建設工事(ポンプ施設))	原案可決 (賛成多数)	「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書」採択へのお願い	みなし 採 択
工事請負契約締結について(町道金武243号線整備工事(橋梁下部))	原案可決 (賛成多数)	議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

米空軍嘉手納基地所属 F 15 戦闘機の墜落事故に対する抗議決議

去る5月28日午前8時43分ごろ、米空軍嘉手納基地所属のF 15戦闘機が国頭村安田の東南約59キロ沖合の海上に墜落する事故が発生した。

墜落現場近くの海域はソデイカやマグロの漁場となっており、一歩間違えば漁業者を巻き込むなど大惨事となりかねないもので、漁業関係者に不安を与えた。

さらに米軍は今回の墜落の原因が明らかにされないまま、事故から2日後にはF 15戦闘機の飛行を再開しており、安全管理のあり方に疑問を持たざるを得ない。

F 15戦闘機については、過去にもたびたび墜落事故が発生しており、今回の事故の完全なる原因の究明と安全確保ができない状況下での飛行及び訓練の再開は到底容認できるものではない。

本町の上空は、嘉手納基地を離発着する軍用機が飛行している。昭和53年5月にはキャンプ・ハンセンにF 4戦闘機が墜落する事故が発生しており、万が一民間地域に墜落する事故となれば住民を巻き込む大惨事となる。

よって、金武町議会は住民の生命、財産及び安全と平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現されるよう強く要求する。以上、決議する。

記

1. 事故原因の徹底究明とその結果を速やかに明らかにすること。
2. 事故原因の究明と再発防止策が講じられるまでの間、F 15戦闘機の飛行を中止すること。

平成25年6月24日 沖縄県金武町議会

宛 先

駐日米国大使・在日米軍司令官・在沖米国総領事
在日米軍沖縄地域調整官・嘉手納基地第18航空団司令官

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

わが国にはB型肝炎150万人、C型肝炎200万人ほどの感染者・患者がいると推定され、その大半は集団予防接種や治療時の注射針・筒の使い回し、輸血、血液製剤の投与などの医療行為による感染が原因の医原病とされる。このような感染被害の拡大を招いたことに対する「国の責任」と、肝炎患者を救済する責務を明記した肝炎対策基本法が平成22年1月施行された。

しかし、今なお感染被害は償われず、多くの患者が肝炎の進行と高い医療費負担、差別などに苦しめられ、毎日約120人もの肝炎患者が亡くなっている。「薬害C型肝炎救済特別措置法」、「特定B型肝炎感染者への給付金等支給特措法」が成立し、裁判を通じて補償・救済されるしくみができた。しかし、カルテや明確な証明が必要なため、裁判にだして救済されるのはほんの一握りにすぎない。C型肝炎患者の9割以上を占める注射器の使い回しや輸血が原因の患者、母子感染ではないとの証明などできないB型肝炎患者の大半には補償・救済のしくみがなく、肝炎治療費そのものへの支援策がないため、医療費が払えずに治療を断念せざるをえず、重症化し、命の危険にさらされる患者も少なくない。

このように現行法によって法的救済、補償を受けられる患者はごく一部であり、注射器の使い回し、輸血、薬害によるB型・C型肝炎患者に対して、国が感染被害を償い、いつでも、どこでも安心して治療を続けられるために、肝炎治療と命を支える公的支援制度を確立することが求められている。

よって、国会及び政府におかれては、肝炎対策基本法にもとづいて、医原病によるB型・C型肝炎患者を救済するため、下記の事項について速やかに必要な措置を講じるよう強く要望する。

記

1. 肝炎対策基本法に基づき患者救済に必要な法整備、予算化をすすめ、B型・C型肝炎患者が適正な救済を受けられることを旨とした救済策を実施すること。
 2. 肝炎治療薬、検査費、入院費への助成をはじめ、肝炎治療費への公的支援制度を確立するとともに、肝硬変、肝がん患者への障害者手帳の交付基準を改善し、肝炎対策基本法が定めたB型・C型肝炎による肝硬変、肝がん患者への特別な支援策を講じること。
 3. 治療体制・治療環境の整備、治療薬・治療法の開発、治験の迅速化などをはかること。
 4. 肝炎ウイルスの未検査者、ウイルス陽性者の未治療者の実態を調査し、早期発見・早期治療につなげる施策を講じるとともに、B型・C型肝炎への偏見差別の解消、薬害の根絶をはかること。
 5. 医原病であるB型・C型肝炎による死亡者には一時金、感染者・患者には健康管理手当・支援金を支給する法制度の確立によって、感染被害が償われ、持続的に治療を続けられる環境を整備すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月24日 沖縄県金武町議会

宛 先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・法務大臣
財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣

平成25年 第4回 臨時会

平成25年第4回臨時会を、8月9日に開催した。

8月5日に宜野座村キャンプ・ハンセン内で発生した、HH60パイプホーク墜落事故に対する意見書・抗議決議を可決した。

閉会後に、沖縄防衛局・在沖米国総領事・外務省沖縄大使へ抗議を行った。

議決結果は下記のとおりとなっております。



沖縄防衛局への抗議

平成25年第4回金武町議会臨時会附議案件処理結果

件 名	議決結果	件 名	議決結果
HH60 パイプホーク救難ヘリコプター墜落事故に対する意見書	可 決 (全会一致)	HH60 パイプホーク救難ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議	可 決 (全会一致)

HH60パイプホーク救難ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議

去る8月5日午後4時ごろ、米空軍嘉手納基地所属のHH60パイプホーク救難ヘリコプターが宜野座村のキャンプ・ハンセン内大川ダム付近に墜落炎上し、周辺の水源涵養林を焼き尽くす事故が発生した。

墜落現場から約2kmの位置には民家があり、一歩間違えば住民を巻き込む大惨事となりかねないもので、住民に恐怖と不安を与えた。

ヘリコプターについては、過去にもたびたび墜落事故や米軍提供施設区域外への不時着が発生しており、今回の事故の完全なる原因の究明と安全確保ができない状況下での飛行及び訓練の再開は到底容認できるものではない。

今回の事故は、開発段階や実戦配備後に墜落事故が相次ぎ沖縄県民が猛反対しているMV22オスプレイの追加配備が進む最中に起こった。

キャンプ・ハンセンを抱える金武町の上空は、昼夜を問わずヘリコプターやオスプレイによる訓練が行われている。住民はヘリコプターやオスプレイの爆音に加え、墜落の恐怖と隣り合わせの生活を強いられ、断じて許されるものではない。

よって、金武町議会は町民の生命及び財産を守る立場から、米軍及び関係当局に対し断固抗議するとともに、下記事項について速やかに実現されるよう強く要求する。

以上、決議する。

記

1. 事故原因の究明と再発防止策が講じられるまでの間、ヘリコプターによる訓練を中止すること。
1. 事故原因の徹底究明とその結果を速やかに明らかにすること。

平成25年8月9日 沖縄県金武町議会

宛 先

駐日米国大使・在日米軍司令官・在沖米国総領事
在日米軍沖縄地域調整官・嘉手納基地第18航空団司令官

総務務財政委員会 所管事務調査

研修日：5月21日～24日
場 所：北海道 上富良野町
むかわ町
せたな町

研修事項：行財政改革について
類似町村の予算編成について
防災対策について



研修の様子

平成25年度 北部市町村議会議員・事務局職員研修会



研修会の様子

7月18日（木）国頭村民ふれあいセンターにおいて、平成25年度北部市町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。

沖縄県立八重山病院長や石垣市長を歴任された、国頭村立東部へき地診療所所長 大浜長照氏が「北部の地域医療について」をテーマに講演をおこなった。

講演会終了後は、比地大滝・楚洲あさひの丘など村内視察をおこなった。

町村議会正副議長・正副委員長研修会

8月7日（水）ちやたんニライセンターにおいて、正副議長・正副委員長研修会が開催された。

講師として、人間総合科学大学教授で東京歯科医師大学名誉教授の藤田紘一郎氏や、琉球大学理学部准教授で沖縄県地震・津波想定検討委員会委員などを務める中村衛氏が招かれた。

藤田氏は「免疫力をつける生活・食べ物から笑いまで～125歳まで元気に生きる～」を、中村氏は「沖縄で起こりうる最大級の津波想定と対策」をテーマに講演をおこなった。

傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

9月定例会は、9月17日(火)開会
を予定しております。

日程は変更になる場合があります。決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。



金武町議会事務局

有線放送 8-2292

NTT 098-968-2292

FAX 098-968-6274